

広げよう、やさしさの輪

障がいのある方もない方も 暮らしやすい地域社会を目指して

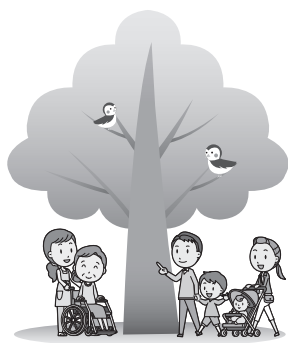


障がいのある方の福祉について関心と理解を深めるとともに、障がいのある方があらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、12月3日(土)から9日(金)までの期間を『障害者週間』として定められています。この機会に障がいのある方もない方も地域の住民としてお互いに支え合い尊重しながら、安心して暮らすことのできるまちづくりについて一緒に考えてみませんか。今号では、11月27日(日)に鳥取県と協定を締結した『あいサポート運動』や市の障がい福祉施策などについて紹介します。

市は『あいサポート運動』に取り組みます

『あいサポート運動』って何？

『あいサポート運動』とは、さまざまな障がいの特性を理解し、障がいのある方の立場にたって接するとともに、障がいのある方が困っているときに、『ちょっとした手助け』を行うことにより、誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていく運動です。平成21年11月に、鳥取県でスタートし、現在、全国で7県、2市、5町が鳥取県と協定を結び、この運動を展開しています。



市は、『あいサポート運動』に取り組みます

市は、鳥取県と連携して『あいサポート運動』に取り組むこととし、北海道内の市町村で初めて鳥取県と協定を締結しました。

この運動を通じて、一人でも多くの市民に『あいサポーター』となっただけでなく、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指します。

『あいサポーター』になるには？

『あいサポーター』になるには、『あいサポーター研修』を受講してもらいます。

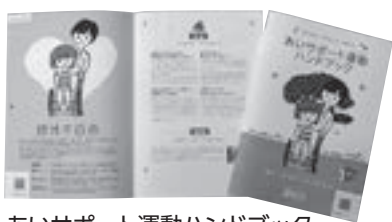
『あいサポーター』は、さまざまな障がいの特性や障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、日常生活において障がいのある方が困っているときなどに、ちょっとした手

『あいサポーター研修』を行います

『あいサポーター』普及のため、地域や各団体、企業などの研修として、市が『あいサポーター研修』を行います。

『あいサポーター研修』を希望する方は、障がい福祉グループまで問い合わせください。

『あいサポーター研修』を受けた方に配られるあいサポートバッジを身につけ、あなたも『あいサポーター』として、誰もが暮らしやすい地域社会を目指しませんか。



▲あいサポート運動ハンドブック



あいサポートバッジについて

障がいのある方を支える『心』を2つのハートを重ねることで表現しました。後ろの白いハートは、障がいのある方を支える様子を表すとともに、『SUPPORTER』の『S』を表現しているなど、共生社会が実現されることへの期待も込められています。

あいサポートの意味

『愛情』の『愛』、私の『アイ』に共通する『あい』と、支える、応援する意味の『サポート』を組み合わせ、障がいのある方を優しく支え、自分の意思で行動することを意味しています。